



第886回会誌編集委員会（4月22日）

本誌5月号、6月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

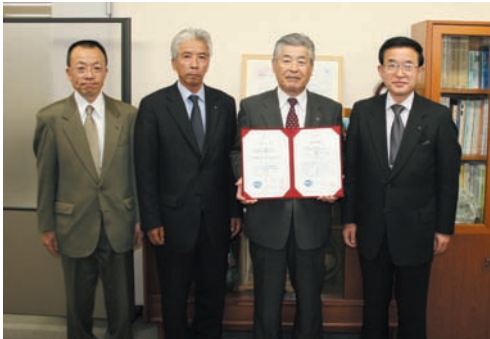


第45回水道 GLP 認定委員会（4月27日）

新潟市水道局（認定番号：JWWA-GLP007）の水道 GLP 認定更新について審議を行い、審議の結果、更新（4月25日付）を決定した。

水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定（松山市公営企業局、秋田市上下水道局、㈱日本環境技術セ



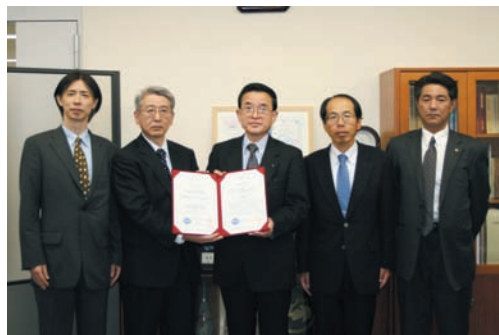
4月19日 松山市公営企業局
(申請番号：JWWA-GLP062)



4月19日 秋田市上下水道局
(申請番号：JWWA-GLP060)



4月23日 ㈱日本環境技術センター
(申請番号：JWWA-GLP059)



4月27日 北九州市水道局
(認定番号：JWWA-GLP002)

ンター）及び認定更新（北九州市水道局）が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。

第1回 水質検査精度に関する調査専門委員会（4月28日）

本委員会は、水道法第20条に基づく登録水質検査機関が行う水質検査の信頼性を確保するため、厚生労働省が新たに設置した「水質検査の信頼性確保に関する取組検討会」の事実上の作業部門として、衛生常設調査委員会の下に設置したものである。厚生労働省から、登録水質検査機関の現状について説明を受けた後、先ず、「水質検査を委託する際の特記仕様書」及び「水質検査結果のチェックリスト」等を作成することとした。



第642回抄録委員会（5月10日）

本誌8月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。



第3回 公益法人制度改革に関する定款変更専門委員会（5月11日）

東京都水道局の加藤参事が議長となり、議題(1)「第2回公益法人制度改革に関する定款変更専門委員会議事録について」、議題(2)「公益法人制度改革における方向性について」が上程され、各支部における実状を踏まえた意見に基づき審議が行われた。



第61回全国水道研究発表会（5月19日～21日）

新潟市の朱鷺メッセにおいて全国から約1,500名の参加を得て盛大に開催された。開会式では開催地を代表して、宮崎新潟市副市長、日本水道協会を代表して御園専務理事、来賓として粕谷厚生労働省水道課長、坂本日本水道工業団体連合会専務理事より挨拶があった。



宮崎新潟市
副市長



御園日本水道協会
専務理事



粕谷厚生労働省
水道課長



坂本日本水道工業
団体連合会専務理事

続いて、「地震に強い水道の実現—水道耐震化を加速させるために—」をテーマとして、小泉首都大学東京大学院都市環境科学研究科教授の座長のもと市村東京都水道局総務部副参事、大沼新潟市水道局技術部長、福本呉市水道局技術部副部長、大嶽日本上下水道設計(株)東京総合事務所水道部副部長を講師に、水道フォーラムが開催された。

また、会期中本会のPRコーナー、日本水道工業団体連合会による水道用品展示会が開催され、多数の見学者で賑わった。

研究発表は10部門に分かれて行われ、発表数は事務22、計画36、水源・取水10、浄水63、導・送・配水58、給水装置16、機械・電気・計装14、水質49、リスク管理・災害対策26、英語12、計306編の発表が行われた。



開会式



水道フォーラム



研究発表の様子



朱鷺メッセ